



# Cisco UCS C シリーズ 揮発性に関する報告

---

Cisco UCS C シリーズ ラックマウント サーバには、電氣的に削除可能でプログラム可能な不揮発性シリアル メモリ コンポーネント (EEPROM とフラッシュ メモリ) が複数搭載されており、製造ハードウェア ID およびハードウェア設定情報の保持に使用されます。シリアル EEPROM とフラッシュ メモリの大部分はユーザによって書き込まれることはなく、顧客情報は含まれません。

顧客データを保持できる数少ないフラッシュ デバイスをクリアする手順は、このマニュアルに記載されています。

このマニュアルの対象は次のサーバです。

- Cisco UCS C220 M4 および C240 M4
- Cisco UCS C460 M4
- Cisco UCS C3160
- Cisco UCS C22 M3 および C24 M3
- Cisco UCS C220 M3 および C240 M3
- Cisco UCS C420 M3
- Cisco UCS C260 M2
- Cisco UCS 460 M2

このマニュアルでは次の手順について説明します。

- 「ストレージ コントローラ TFM キャッシュのクリア」 (P.2)
- 「工場出荷時設定への BIOS の復元」 (P.2)
- 「工場出荷時設定への CIMC の復元」 (P.3)
- 「CIMC ログのクリア」 (P.3)

## ストレージコントローラ TFM キャッシュのクリア

Cisco UCS C シリーズ サーバに LSI ストレージコントローラ カードが設定されていることがあります。このカードには、SuperCap 電源モジュール (SCPM) またはバッテリー バックアップ ユニット (BBU) によるバッテリー バックアップ付きキャッシュ用の TFM モジュールが搭載されています。TFM モジュールは、ユーザ データの消失を防止するために、ユーザ データの一部をキャッシュする場合があります。サーバにこの設定がある場合は、次の手順を使って TFM キャッシュをクリアします。

- 
- ステップ 1** まだインストールしていない場合は、サーバのオペレーティング システム (Linux/Windows/VMWare) に LSI StorCLI ユーティリティをダウンロードしてインストールします。
- LSI StorCLI ユーティリティおよびドキュメントは LSI.com からダウンロードできます。
- ステップ 2** 新しいコマンド/ターミナル ウィンドウを開き、StorCLI がインストールされているディレクトリに移動します。
- ステップ 3** 次の順番でコマンドを実行します。

```
Storcli64 /cx delete events
Storcli64 /cx delete securitykey
Storcli64 /cx delete termlog
Storcli64 /cx flush
Storcli64 /cx/vall delete preservedcache force
Storcli64 /cx del Nytrocache
Storcli64 /cx/vx delete BBMT
Storcli64 /cx set factory defaults
```

---

## CIMC および BIOS のクリア

BIOS および CIMC を工場出荷時の設定に復元し、CIMC ログをクリアできます。

### 工場出荷時設定への BIOS の復元

BIOS のデフォルト設定を復元するには、次の手順を使用します。

- 
- ステップ 1** サーバの IP アドレスを使用し、CIMC GUI インターフェイスにログインします。
- ステップ 2** [Server] タブを選択します。
- ステップ 3** [Server] タブの [BIOS] をクリックします。
- ステップ 4** [BIOS Actions] の [Clear BIOS CMOS] をクリックします。
-

## 未完成ドキュメント (レビュー要) - シスコ社外秘

### 工場出荷時設定への CIMC の復元

CIMC のデフォルト設定を復元するには、次の手順を使用します。

- 
- ステップ 1 サーバの IP アドレスを使用し、CIMC GUI インターフェイスにログインします。
  - ステップ 2 [Admin] タブを選択します。
  - ステップ 3 [Admin] タブの [Utilities] をクリックします。
  - ステップ 4 [Utilities Actions] の [Reset CIMC to Factory Default Configuration] をクリックします。
- 

### CIMC ログのクリア

CIMC ログをクリアするには、次の手順を使用します。

- 
- ステップ 1 サーバの IP アドレスを使用し、CIMC GUI インターフェイスにログインします。
  - ステップ 2 [Server] タブを選択します。
  - ステップ 3 [Server] タブの [Faults and Logs] をクリックします。
  - ステップ 4 [CIMC Log] タブを選択します。
  - ステップ 5 ページ下の隅にある [Clear Log] ボタンをクリックします。
-

未完成ドキュメント (レビュー要) - シスコ社外秘